学校番号	２１２

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	(学)現代文演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等	「完成現代文大学入学共通テスト対策改訂版」（尚文出版） 「過程の演習新国語問題集アシスト第２３集現代文編」（啓隆社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・現代文演習では、１，２年生時で身につけたことを更に発展させ、問題演習を中心に授業を行います。具体的には、評論・小説・実用的な文章の習得等を通して、皆さんの読む力、聞く力、書く力、考える力を高めていきます。
・文章を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くしていきます。語句の意味、用法及び文の構造を理解し、文章や作品の内容を構成や展開に即して、的確にとらえられるようにしていきます。

2　学習の到達目標

国語に関する力を次の通り育成する。
(1)「現代の国語」と「論理国語」で身に付けた知識と技能に加え、言葉の特徴や文の構造などの知識と技能を幅広く身に付ける。
(2)複数の文章を読むことで、内容を正確に理解する力を養う。
(3)自分の考えをまとめ、他者に伝えられるようにする。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語についての知識を身に着け，近現代の文章についての理解を深め、その特質を理解している。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし，近現代の文章を通した先人のものの見方，感じ方，考え方との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり，思いや考えを広げたり深めたりしながら，言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに，進んで文章に親しみ，言葉を効果的に使おうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1学期	現代文の基礎力を伸ばす ・評論 ・小説 ・実用的な文章	a:漢字や語句など基礎的な知識を身に付けており、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。 b[読]:内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を正確に把握している c:本文内容の正しい理解を踏まえて、筆者の主要な見解をわかりやすく丁寧にまとめようとしている。	定期考査 ワークブック	定期考査 ワークブック	ワークブック ワークシート
2学期	現代文の基礎力を発展させる。 ・評論 ・小説 ・実用的な文章	a:漢字や語句など基礎的な知識を身に付けており、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。 b[読]:内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を正確に把握している c:本文内容の正しい理解を踏まえて、筆者の主要な見解をわかりやすく丁寧にまとめようとしている。	定期考査 ワークブック	定期考査 ワークブック	ワークブック ワークシート
3学期	現代文の発展的な力を身に付ける。 ・評論 ・小説 ・実用的な文章	a:漢字や語句など基礎的な知識を身に付けており、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。 b[読]:内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を正確に把握している c:本文内容の正しい理解を踏まえて、筆者の主要な見解をわかりやすく丁寧にまとめようとしている。	定期考査 ワークブック	定期考査 ワークブック	ワークブック ワークシート

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　　）時間

・読むこと　…　（　７０　）時間